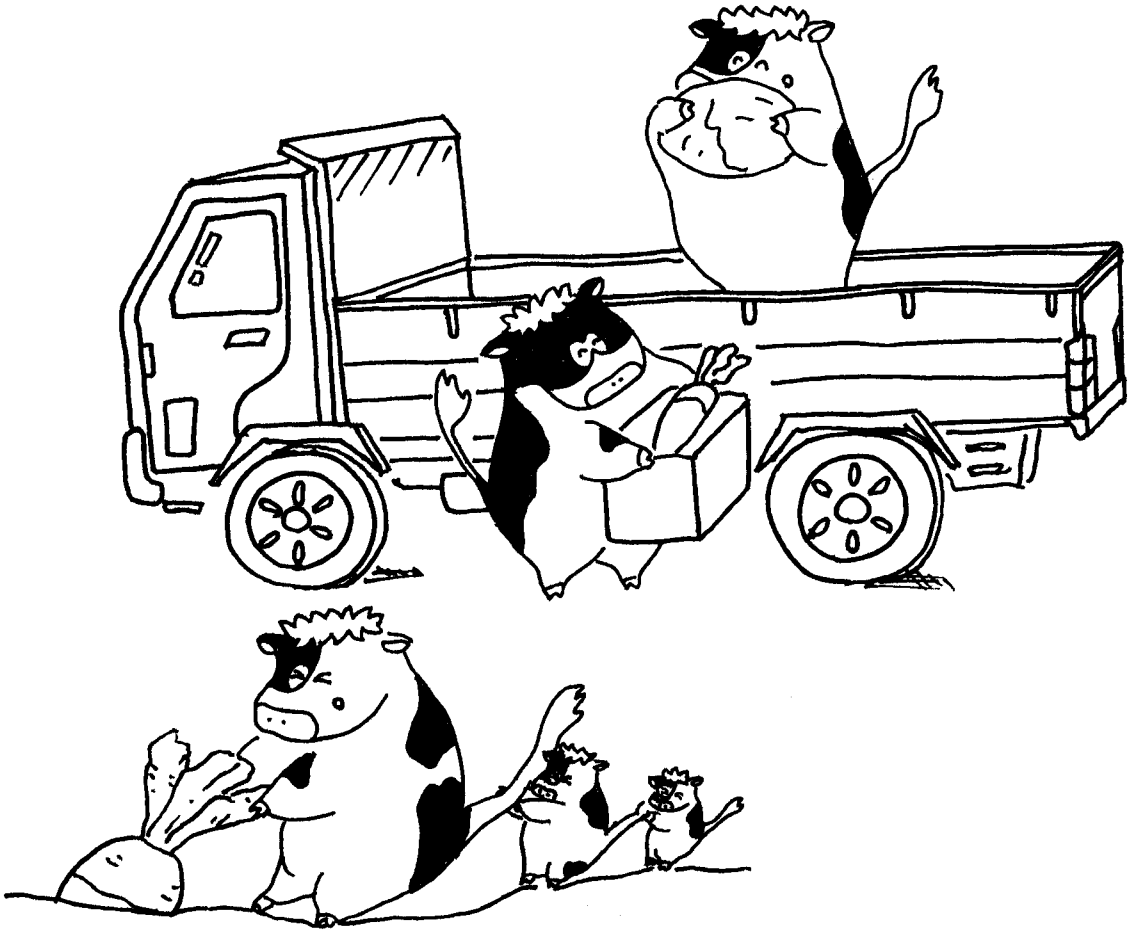
VII 園　　芸



楽しみふくらむ園芸ライフ

1．家庭菜園の楽しみと意義

生活に潤いと楽しみ・健康指向のなか、新鮮で安全な野菜が求められおり、自家用野菜の栽培が盛んになってきました。

自然条件の厳しい根室地方でも色々な悪条件を克服しながら取り組み、他地域とほとんど変わらない品目が栽培されています。（表１）

表１　根室管内で栽培されている野菜の種類（普及員が栽培を見かけたもの）

露地栽培	マルチング栽培	ハウス栽培
（根菜類）	（根菜類）	（果菜類）
ばれいしょ　にんじん	さつまいも　ながいも	トマト　なす
だいこん　白かぶ	だいこん（時期によりマルチ）	ミニトマト　ナンバン
二十日だいこん　にんにく		ピーマン　きゅうり
ながいも　ごぼう	（葉茎菜類）	
（葉茎菜類）	セルリー　はくさい	（果実的野菜）
キャベツ　はくさい	ブロッコリー　キャベツ	メロン　すいか
ブロッコリー　ニラ　ミツバ	カリフラワー　たまねぎ	
カリフラワー　パセリ	◎定植時期によりマルチ栽培をしている。	◎珍しいものでは「ミョウガ」等もある。
ノザワナ　セルリー　しそ	◎害虫対策で被覆資材のべたがけ栽培も多くなりつつある。	◎上記の外に葉茎菜類・果菜類・根菜類等を、ハウスで促成栽培している例が多い。
ほうれんそう　レタス類		◎冬期間でも、ハウスを二重にして、更にトンネルやべたがけで保温し、葉菜類を収穫している例もある。
アスパラガス　ながねぎ		
中国野菜類　たまねぎ		
その他洋菜類など多数	（果菜類）	
（果菜類）	かぼちゃ　花豆	
かぼちゃ　さやえんどう	スイートコーン　そら豆	
スイートコーン　枝豆	さやいんげん類　いちご	
さやいんげん類　花豆		
いちご　そら豆		

露地で困難だった野菜栽培が、ビニールハウスや被覆資材（べたがけ栽培）等の保温資材・技術の普及によって栽培可能になってきました。

当地域は、市場に出荷している方や経済的に成り立つ営利栽培をしている方はほとんどいませんが、プロ顔負けの野菜作り名人もいます。

自家用菜園とは、家庭で自家用の野菜を楽しみながら気軽に作ろうとしていることですから、野菜作りを商売にしている方とは根本的に目的、内容が違います。

その意義として、

(1)　自分で野菜を作る楽しみを味わうとともに、健康のための適度の運動になる。

(2)　店で購入したものでは味わえない野菜を安心して食べることができる。

(3)　農薬などの心配がない野菜を安心して食べることができる。

(4)　土と親しむ家族団らんの場として、子供の自然教育にも最適である、

などがあげられます。

また、少しでも野菜を自給し家計の一助になることはもちろん、余った野菜の隣近所へのおすそ分け、各種イベントでの野菜販売での実益を兼ねた消費者とのふれあいもあります。

2．野菜がつくる交流の輪

自分で作った野菜を通じて消費者とじかに接し、新鮮でおいしい・安い・安全という反応がすぐ得られています。

そこからいろいろな人のつながりが生まれ、魚などとの物々交換や新たに野菜作りに挑戦する人があらわれるなど、朝市・各種イベント参加での野菜販売がひとりでに交流の輪をひろげています。

大盛況！
野菜市でのにぎわい
売る方も買う方も一つになって……

お母さんのチームワークバッチリ
（上風連すみれ会）
野菜の直売市を終えて
ＪＡ上風連支所前で
（７月23日・８月９日）

別海町健幸カーニバル（９月８日）
「野菜を食べて健康」
上風連すみれ会　　北鳴しらかば会
中西メロン研究会の野菜即売会

「根室市土曜市」
フキ・クレソンもあるヨ！

別海町中春別　青野芳樹さんのイチゴ畑

豊原保育園の園児のイチゴ狩り体験
自然にふれ真赤なイチゴに大感激

豊原保育園児のイチゴ狩

一生懸命　イチゴ狩り（７月24日）

収穫したたくさんのイチゴを前にハイポーズ
イチゴの品種：「宝交早生」「きたえくぼ」

うーんいくらあるかな…　重量あてコンテスト

ドリームパンプキンフェスティバル
イン　ベツカイ'96（10月13日）

重さ、でかさを競うコンテスト
その他色々なアトラクション、自家用かぼちゃを
持ち寄っての焼団子、おしるこで舌づつみ
１日中かぼちゃづくしの１日でした

第27回　別海町産業祭（９月21日～22日）
全部別海産野菜（30万円の売上げ）
エーっ、これも別海で穫れるメロン！
好評の内に終了。来年も是非との声

3．楽しんでいます（地区内で栽培されているめずらしい園芸作物）

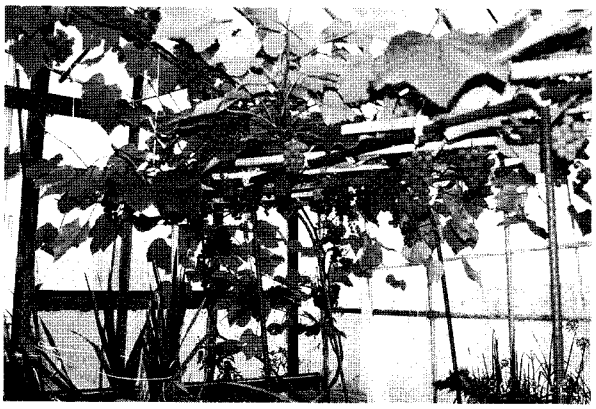
エッ！根室でリンゴがなった？メロン・スイカが別海で…。

見渡すかぎりつづく広大な緑の大地。

牛しかいなく、ほかの農作物はほとんど見られないこの根室の地に…。

経済優先で利益を上げることに夢中だった時代は過ぎ、ゆとり・安心・やすらぎなどが実感できる農業が求められています。

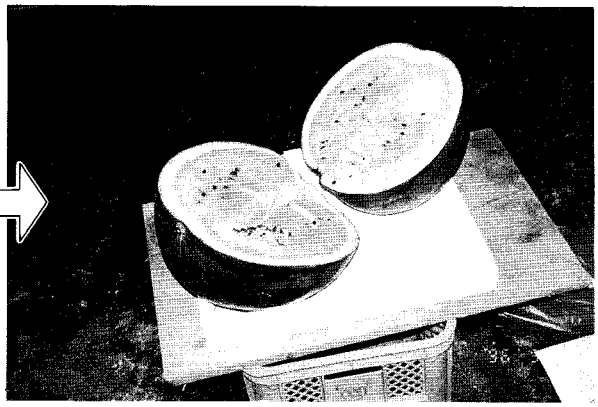
地区内でいろいろなめずらしい園芸作物、ジャンボなものを栽培し、生活にうるおいと楽しみを実践している方を紹介します。



ブドウが鈴なり
中西別　斉藤　ミヨさん
（品種：ポートランド）

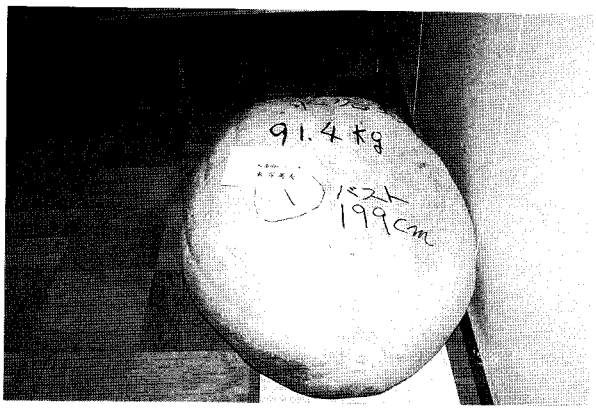
根室でりんご
（ハウス栽培に取り組む）
根室市　西厚床　小林　幸良さん
（根室市果樹研究会）

15kgの大玉スイカ
北鳴　西条　正司さん



うまかったです（品種：縞王）

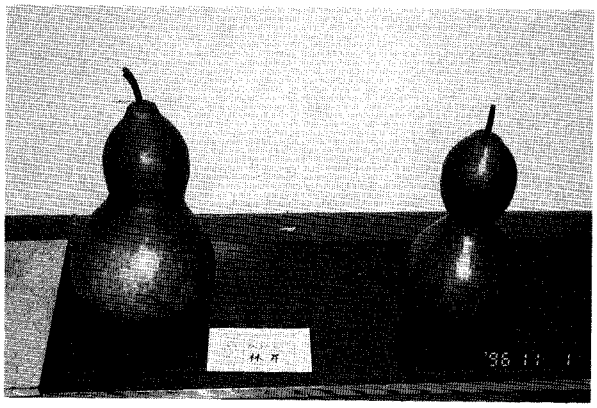
見事なひまわり
環境改善の一翼を担っています
別海町大成　纐纈金治郎さん



今年、別海町で１番大きかったかぼちゃ
「アトランティックジャイアント」
中西別　水谷　英夫さん

ジャンボスイカ、メロン、さつまいも
上風連公民館まつりでの１コマ

エッ！落花生もできるの
上風連　木下タマ子さん



ひょうたん１升徳利？
中西別　林　　昇さん

4．便利な被覆資材の特徴

(1) マルチ

ポリやビニールがないころからマルチはありました。トマトやなすを植えた畝にワラや刈り草を敷きつめていたのがマルチです。

現在使われているのは農業用ポリエチレンフィルム（農ポリ）が一番多く、農ビや農サクビそのほかのフィルムがたまに用いられています。

農ポリは、0.02mm～0.03mmの薄いもので透明と黒が普通でしたが、他に、シルバー・緑・紫・黒にシルバーのストライプ・白黒ダブルマルチ（表が白で裏が黒）など、目的と用途によって使い分けられています。

ハウス・トンネル・露地でも使用されていますが、共通した生育への効果をあげてみると次のような点があります。

① 地温の調節

寒い時期に地温を少しでも上げてやると生育が進みます。

透明のものが地温上昇効果が大きくついで、緑・紫・シルバー・黒の順になります。

逆に暑い時期に地温を下げる効果があるものは、白黒ダブル・黒・シルバーなどのフィルムです。

② 土の保護

土を軟らかいまま保持し、生育を良くする。マルチの色はどれでもその効果は同じです。

③ 土中水分の調節

大雨でも水びたしになることが少なく、また乾燥時でも乾害の発生を少なくします。

④ 肥料の保持

土中の肥料が流れにくく、土の酸性化も少なくなります。

⑤ 雑草の防除

白黒やシルバー・黒では雑草が生えませんが、緑や紫では少なく、透明では効果がありません。

⑥ 病虫害の回避

雨や藻水の水で、土を葉にはね上げないので病気が少なく、シルバーやストライプでは、虫（アブラムシなど）を回避し、ウイルス病も少なくなります。

以上のようにマルチにはたくさんの効果があるので間違いのない使い方をして役立てて下さい。

(2) べたがけ資材

べたがけ資材とは、ほ場一面にすきまなくあるいは作物に密着させてかけ、作物を保護するための資材をいいます。

べたがけの目的は、保温（気・地温上昇）、防暑（遮光）、凍霜害防止（防寒）、防乾（土壌水分・空気温度の調節）、防虫、防鳥があります。

資材は、ポリビニールアルコール（ＰＶＡ）、ポリプロピレン（ＰＰ）、ポリエステル（ＰＥＴＰ）を主原料とする割繊維不織布、および長繊維不織布、ビニロン（ＰＶＡ）製の寒冷紗、ならびにポリエチレン（ＰＥ）、ポリエステル製の化繊ネットが用いられています。

重量は㎡当り割繊維が27～37ｇ、長繊維不織布は15～20ｇ、透明寒冷紗は73～78ｇ、白寒冷紗は59～77ｇといずれも軽量です。

その他、光透過性・通気性・透水性があります。

資材それ自体安価であり利用方法も簡単ですが、気象環境を変化させる程度はビニールハウス等に比べると小さいので、利用にあたってはそれぞれの資材の性質と効果を活かした使い方が必要です。

また、べたがけ資材の気象環境に対する野菜の生育特徴の共通点として次のようなことが挙げられます。

① **低温・高温の調節効果と生育**

効果の第１は温度の調節です。

低温時には温度の上昇、高温時には温度の上昇が防げるためそれを栽培に利用しますが、生きものである作物は、わずか0.5℃程度の温度の上下で枯死したり、正常に生育しなかったりする限界的な気象環境が必ず存在するものです。

② **抽苔の制御**

抽苔してはならないもののうち、だいこん・にんじん・ごぼう・はくさいなどは低温により花芽分化して抽苔しますが、低温時を経過する栽培型においてはべたがけにより抽苔を回避することができます

③ **光環境**

作物と太陽の間に資材がかけられるのですから光が減少するのは当然で、資材の種類によって20～30％の減少率となります。

べたがけは、高温で強光の時は光をやわらげ、同時に温度の上昇を防ぎます。

また、反対に低温時の保温のためのべたがけの光強度は一般的に少なく20～30％の光の減少は大きく、マイナス効果になりますが、それにもかかわらず被露の効果を生ずるのは、それを上まわるプラス効果、温度を上昇させる保温の効果が効いているためです。

④ **風対策**

風による葉の痛みや、乾燥・寒さが重なることによる、露地での葉・根菜類の品質低下や生育障害の防止。

⑤ **病虫害の回避**

虫の侵入回避は単に食害を防ぐだけではなく、ウイルス媒介昆虫の飛来を防ぐことにより、発病を少なくする効果も大きく、薬剤費の大幅な節約とともに安全野菜の生産にも有効。

⑥ **温度環境**

蒸発量を抑えるので被覆下は湿度が上昇します。

このことは、種直後に直がけすれば乾きを防ぎ発芽、生育とも良好になります。

反面、徒長しやすく病害の出やすい環境にもなります。

⑦ **複合的効果**

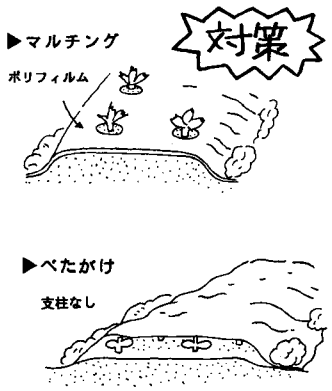
べたがけによる以上のさまざまな環境の変化や作物への効果は、それぞれ単独でなく数種の変化がどの場合にも含まれます。

例えば保温を目的とした場合でも光の透過率の低下は伴うし、温度の上昇も生じます。

また、作物体に触れるように直がけを行なう場合には、触れること自体が作物の生理に影響を与える可能性があります。

それは、接触により内生エチレンが発生することが知られています。

エチレンは徒長を防ぎ、根の発育を良好にするなどの働きもあります。



資材の価格と耐用年数

資材の種類	10ａ当たり価格	主　な　銘　柄
割繊維不織布	120,000円／６～８年	タフベル4000N
	70,000円／２～３年	日石ワリフＨＳ（白）
長繊維不織布	28,000円／１～３年	パオパオ90
		パスライト
		マリエース
寒冷紗（白）	117,000円／５～７年	クレモナ寒冷紗
寒冷紗(透明)	117,000円／５～７年	クレモナ透明寒冷紗
化繊ネット	133,000円／３～５年	ダイオネット等防風網
		各種（目合２㎜）

5．ドライフラワー（生花とひと味違う表情を楽しんでみませんか…）

乾いた花をはじめ、葉・枝・草・穂・木の実・種子などの植物全般を乾燥させたものを「ドライフラワー」と呼びます。

◎ドライフラワーの作り方

花によっては、自然乾燥で、そのままドライフラワーになるものもありますが、多くの花は特別に手をかけ、時間をかけて作り上げなければなりません。

方法はいくつかありますが、どの方法で作るにしても、花の選び方、採取のタイミングが最も大切です。

花は6～7分ぐらい咲いたもの（2～3分咲きという花もある）、葉はしっかりと水が揚がっているもの、穂のついたものは穂が完全に熟しきらないもの、木の実などは落ちているものでなくなるべく枝についているものが、色も形もきれいで、ドライの素材には適しています。

バラなど、満開になるまで活けて眺め、そのあとドライにというのでは、きれいに仕上がりません。

(1) 自然乾燥法

実や大きな枝はそのままで、小さな枝や草花には適当な分量を束ねて、棒やロープまたは針金に金具やひもで縛りつけ、直射日光にあたらない涼しくて、風通しのよい乾燥しやすい場所に逆さにして吊るしておきます。この他、少量の水にさしたまま徐々に蒸発させて乾燥させる方法や、花びらを1枚ずつ重ならないように大きめの箱やバスケットに入れて乾燥させる方法、花に茎を少し残してネットに差して乾燥させる方法などがあります。

花の種類や天候によっても異なりますが、2週間前後が目安で、完全に乾いたらできあがりです。

(2) 埋没乾燥法

シリカゲル（乾燥剤）を使って作る方法です。

自然乾燥に比べて、色があせたりくすんだりすることが少なく、形や大きさもあまり変わらず色鮮やかに約1週間でできあがります。

作り方は、容器にシリカゲルを入れそこに花を埋めて密閉しておくだけです。

花を茎から切り離して作る「1輪作り」と、花の自然の姿をそのまま乾かす「1本作り」とがあり、1輪作りは、花・葉・茎を別々に埋めてから、ワイヤーで1本の花に仕上げます。

1本作りは、花1本を丸ごとシリカゲルに埋める方法です。

乾燥の仕方は

ア．花が真っすぐ立つように、容器の底2～3㎝の高さにシリカゲルを敷く。

イ．間をあけて花を並べる。花にもよりますが、5～6輪が適当。

ウ．並べた花がシリカゲルの重みで形が崩れないように、花びらの下にもスプーンでシリカゲルを流す。

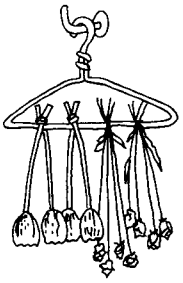
エ．花がかくれるまでシリカゲルを流す。

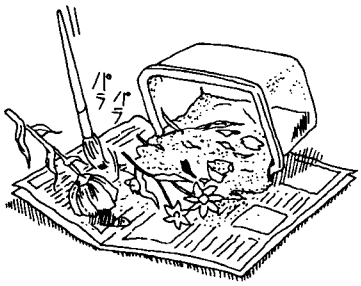
オ．ふたをして密閉する。（1週間位）

カ．ふたをあけ、シリカゲルを流し出す。（静かに花がでてくるまで）

キ．取り出した後は、花の中に入っているシリカゲルをハケか筆でていねいに払い出す。

この順序で乾燥します。





⑶ 電子レンジ乾燥法（直接乾燥法、間接乾燥法）

電子レンジの熱を利用して、シリカゲルを加熱することで脱水、乾燥力の効果を早めます。

容器（使える容器は料理の場合と同じ）にシリカゲルを入れ、その中に花を全部埋めてから電子レンジで加熱します。

花の大きさや性質によって一度に加熱できる花数が微妙に違いますが、おおよそ800ｇのシリカゲルで１分30秒の加熱時間を目安にします。（ふたはしません）

シリカゲルの温度は60℃ぐらいに上がって、花の色を保たせる限界近くになります。（80℃が限界です）

加熱時間が少ないと、充分乾いていないため、取り出す時に形が崩れたりします。また、加熱時間が長すぎると花が焦げてしまいますので注意しましょう。（直接乾燥法）

先にシリカゲルだけを電子レンジで加熱・脱水し、乾燥力を強めたうえで花を埋める方法ですと、常温のままのシリカゲルに埋めると１週間ぐらいかかって乾いたものが、半日から１日と乾燥時間が格段に短くてすみます。

シリカゲルは800ｇを強加熱で２分が目安で、密封して１日おきます。（間接法）

電子レンジは、家庭用で料理のときと同じ感覚で使って下さい。

ここで表示している加熱時間は、「強」と「弱」の切り替えのある500Wの電子レンジを「強」にして使った場合の時間です。

手持ちの電子レンジの出力を確認して600Wの場合は時間を少し控えめにし、400Wの場合は様子を見ながら時間を増して下さい。

⑷ 必要な資材、道具

・シリカゲル

お菓子などに入っている乾燥用のシリカゲルでは粒が荒く、花びらにデコボコができてしまうので向きません。

電子レンジで使えるように粒子を特別精製し、さらに、乾燥力が鮮明にわかるようコバルトブルーにしてあるドライフラワー専用のシリカゲルを使います。（ドライフラワー専門店、クラフトショップで）

シリカゲルは、ＪＩＳマークで身体の影響はありませんが、食べ物ではありません。

また、粒子が硬いので、手につけたまま柔らかい肌や目をこすらないようにしましょう。

シリカゲルは湿気を吸うとピンク色になりますが、電子レンジで加熱すれば、また、もとのきれいなブルーに戻り何回でも使うことができます。

※シリカゲルの再生…ティーカップの１杯分ぐらいを皿の上に薄く敷きつめて、１分30秒加熱します。
かきまぜてピンク色が残っていたら10～15秒ずつ加熱時間を増します。

その他、輪ゴム・ハンガー・スプーン・ビニール袋・容器を用意しましょう。